

NEWS LETTER vol. 18 <2008年9月号>

■【トピックス】 季節は秋へ！



だいぶ涼しくなってきましたね。季節は確実に秋へ向かっています。今年は思いっきり季節感の感じられる秋になってほしいですね。

それにしても、北京オリンピックの喧噪もようやく終わりましたね。マスコミは少し騒ぎすぎでしたが。

中国は、開催国の意地もあって金メダル数でずば抜けていました。

それにしても、日本経済にも影響のあるオリンピック後の中国経済が心配です。

■【ビジネス・アイ】 予算管理（その1）

社長 「花野さん、これから景気も厳しくなりそうだから下期の予算を組み直そうと思うんだよ」

花野 「そうですね。トヨタも見通しをだいぶ下方修正しましたからね」

社長 「それでなんだけど、最終利益が2千万円を割りそうなんだ」

花野 「それはまずいですね。御社の場合、借入金の約定返済が毎年3千万円ですから、返済に支障をきたしますね」

社長 「そこなんだよ。ここ3年は何とか借入金を減らしてきたんだけど、今期は難しそうなんだ」

花野 「そうですね。税引後利益プラス減価償却が、御社の場合、借入金の返済原資になりますから、減価償却が1千万円とすると、利益はどうしても2千万円はほしいところですね」

社長 「それはそうなんだけど原料も油も値上がりで、そういうわけにも行きそうにないんだ」

花野 「それなら、税金を少しでも減らすように節税を考えましょう。そういえば特別償却の対象となる設備を購入しましたよね」

社長 「あの新しい設備のことだね。確か5百万円の控除を受けれるはずだよ」

花野 「これで目標利益を少し下げることができますね。5百万の経費増ですから実効税率を40%とすると2百万円税金が少なくなります。」

社長 「利益が減っても税金が少なくなる分、キャッシュが助かるということだね」

■【今月のキーワード】 目標利益

経営計画とか予算編成を行う場合、目標利益は総資本利益率（ROA）などをもとに決めることが多いですね。

しかし、借入過多の中小企業では、このような指標ではなく、現実問題としての借入金の返済額に注目して目標を設定することも必要になってきます。

サブプライム問題以降、銀行の融資も厳しくなっているようですので、銀行に対してもキチンと説明できる目標が必要になりますね。

これからは計数管理が重要です。

■【今月の1冊】

『ヤクザマネー』

NHK「ヤクザマネー」取材班 著
講談社

¥1,500

東京証券取引所に新興市場マザーズが開設されて以来、新規の株式上場は、ヤクザの「シノギ」になりました。

堅気の共生者（元証券マンなど）がヤクザの資金を企業に繋ぎます。今では気がつかないうちに闇の世界に取り込まれます。

本当に怖い世界です。足下をすくわれないためにご一読を！



■【編集後記】

秋は春と同様に何かを始めるには良い季節ですね。これからの時期、新しいことにチャレンジしていきたいと思っています。

具体的な計画は何もありませんので、何かお勧めがあれば、是非お知らせ下さい。

『NEWS LETTER』vol. 18（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2008.9.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>